



下呂市 GERO CITY assembly 議会だより

平成29年8月1日
第53号



ケチカン訪問団による白龍太鼓の演奏

CONTENTS

- P2～P5…… 4月臨時会の報告・新体制で3カ月が経過
- P6～P8…… 6月定例会の報告(審議結果・委員会報告)
- P9～P13…… 一般質問で10人が市政を問う
- P14…… 委員会報告、表紙の写真、9月定例会日程、編集後記

4月臨時会の報告

4月28日、平成29年第2回下呂市議会臨時会を開催しました。下呂市税条例など専決処分の承認議案4件や、固定資産評価審査委員会委員の選任、下呂市結婚支援事業の補正予算など全て可決しました。また議長・副議長選挙を行い、議長に伊藤厳悟議員、副議長に各務吉則議員が就任しました。このほか常任委員会、特別委員会の役員改選を行い閉会しました。

上程議案と審議結果

◎全会一致で可決した議案 【市長提出議案】

議 案 名	審 議 結 果
専決処分の承認について（下呂市税条例の一部を改正する条例） 地方税法の一部改正に伴う専決処分について承認を求めるもの。	可 決 (全会一致)
専決処分の承認について（下呂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 地方税法施行令の一部改正に伴う専決処分について承認を求めるもの。	
専決処分の承認について（過疎地域自立促進特別措置法の施行に伴う下呂市固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例） 過疎地域自立促進特別措置法の一部改正に伴う専決処分について承認を求めるもの。	
専決処分の承認について（訴えの提起） 公用車の交通事故に係る訴えの提起について専決処分したので承認を求めるもの。	
下呂市固定資産評価審査委員会委員の選任の承認について 田口 勝さんを下呂市固定資産評価審査委員会委員として選任したので承認を求めるもの。	
下呂市固定資産評価員の選任について 倉田 誠さんを下呂市固定資産評価員として選任するもの。	
下呂市公共下水道湯之島浄化センターの建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について 下呂市公共下水道湯之島浄化センターの建設工事委託に関する協定の変更協定を締結するもの。	

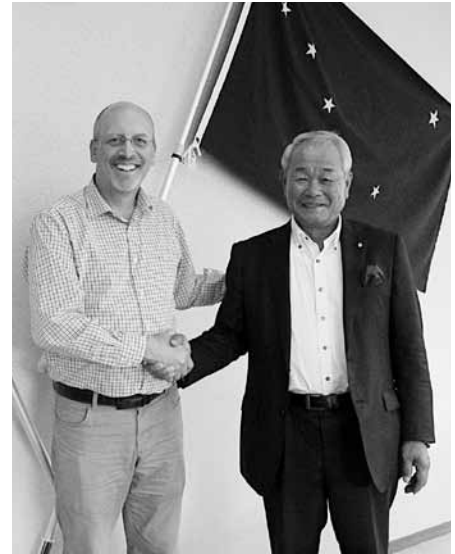
◎賛否が分かれた議案 【市長提出議案】

○…賛成 ×…反対 △…採決退席

議 案 名	議 員 名														審 議 結 果
	尾里 集務	中島 ゆき子	田中 副武	今井 政良	今井 政嘉	各務 吉則	宮川 茂治	中島 博隆	伊藤 嚴悟	一木 良一	吾郷 孝枝	中島 新吾	中島 達也	中野 憲太郎	
平成 29 年度下呂市一般会計補正予算（第 1 号）	×	○	○	○	×	○	×	○	○	△	○	○	○	議長	可 決 (賛成多数)
結婚支援事業などの補正。															

新体制で3カ月が経過

4月28日より新体制でスタートしています。それぞれの活動方針などをお知らせします。



30周年記念式典(6月3日)でケチカン市長(左)と握手を交わす伊藤議長

議長 伊藤 厳悟

このたびの役員改選において、議長に就任させていただきました。市政の信頼を高めるためには、議会の責任は重く、山積みする課題を検討し、市の発展に力を尽くしてまいります。

特に人口減少、少子化対策は喫緊の課題であります。各地域のそれぞれの持ち味を引き出すことで魅力ある地域とし、若者の定住人口を増やすことにつなげたいと考えています。同時に子育てや教育環境の充実も重要案件です。

観光立市として、観光産業の発展には道路アクセス、旧下呂温泉病院・旧ホテル下呂館跡地の活用が重要となります。

市民の皆さまの声を反映し、一次産業、二次産業、三次産業が連動して発展できるまちづくりが市の新たな魅力を生み、地域連帯の象徴になるよう議論を深め取り組んでまいります。市民の皆様方に一層のご協力、ご支援をお願いしまして挨拶とさせていただきます。

副議長 各務 吉則

このたび役員改選において、副議長に就任させていただきました。ことにになりました。

将来に夢ある下呂市にするため、交流人口の増加や地域活性化には、市民・行政・議会が同じ方向を向くことが大切だと思います。

まちおこし活動をする市民の皆さんは心強く、その活動に支援が必要です。そのために地域の意見をよく聞き、集約して議会に反映させたいと思います。

また、議会として下呂市、高山市、飛騨市、白川村の三市一村の飛騨地域の連携の強化。濃飛横断道・リニア特別委員会における下呂市、中津川市、郡上市、東白川村の三市一村の連携強化など、地域活性化対策のため広域連携を一層進めなければならないと思います。

市民の皆様が安心安全に暮せるよう、元氣な下呂市づくりを目指したいと思います。皆様の一層のご協力、ご支援をお願いしまして挨拶とさせていただきます。



視察(鶴岡市)で歓迎の挨拶をする各務副議長(5月31日)

各委員会の 委員・活動方針

監査委員

議員選出 中島 博隆

議会運営委員会

定数 7人

委員長 中野 憲太郎
副委員長 中島 達也
委員 田中 副武
今井 政良
各務 吉則
一木 良一
中島 新吾

飛騨農業共済議員

議員

伊藤 厳悟
今井 政良

総務教育民生 常任委員会

定数 7人

委員長 今井 政良
副委員長 今井 政嘉
委員 中島 ゆき子
田中 副武
宮川 茂治
中島 新吾
中島 達也

活動方針

下呂市は、少子高齢化・人口減少問題に対して、早急に効果的な対策が必要です。そのためには、結婚・出産・育児・教育・福祉・医療などのソフト面の充実を図る必要があります。子育て支援として女性が仕事と育児の両立を図れる職場環境づくりの推進、移住定住対策、医師の確保。医師会、病院、施設との連携による安心して介護できる環境づくり、空き家対策など、あらゆる施策を進めなければなりません。そのため、それぞれの現場の状況をしっかりと把握し、下呂市にあった先進地の成功事例を調査し、市政に生かされる方法などを研究します。

産業経済 常任委員会

定数 7人

委員長 一木 良一
副委員長 尾里 集務
委員 各務 吉則
中島 博隆
伊藤 厳悟
吾郷 孝枝
中野 憲太郎

活動方針

農林業の振興は、将来にわたって農地や山林を守り、後世に継続できる諸施策が必要です。具体的には、集落営農、耕作放棄地対策、有害鳥獣対策、林業の集約化、後継者問題などについて検討します。社会生活基盤の整備では、災害に強い、市民が安心して暮らせるインフラ整備、地域にあった街づくり、情報基盤の整備などについて検討します。商工、観光業では永続的に発展していくための各種振興策、助成事業などの検討をします。環境施策では、新クリーンセンター整備工事や最終処分場の整備などの進捗状況を確認します。

庁舎・振興事務所整備、 旧下呂温泉病院跡地等 活用検討特別委員会

定数 13人

委員長 中島 博隆
副委員長 吾郷 孝枝
委員 議長を除く全員

活動方針

本年度、下呂庁舎や小坂・馬瀬振興事務所の耐震を含めた整備が始まります。地域住民、職員にも安全な施設となるよう、引き続き進捗状況を確認します。

地域再生計画については、温泉街にある市有地の活用について、公募型プロポーザル方式で計画された事業構想を検討していきます。この事業は多額の費用がかかることから、観光商工関係団体や市民の皆さんとの意見交換が最も重要だと考えます。進捗状況をしっかりと把握し、将来の負担にならないよう、内容を十分チェックしていきます。



予算特別委員会

定数 13人

委員長	田中 副武
副委員長	今井 政嘉
委員	議長を除く全員

活動方針

当委員会では、執行部から提出された予算について、将来を見据えた財政運営を可能とする予算となっているか、そして市民全体の立場に立った公平なものか審査します。補正予算では、財源確保や当初計画がどのように変更されたのか、慎重に審査します。

決算特別委員会

定数 13人

委員長	今井 政嘉
副委員長	今井 政良
委員	議長を除く全員

活動方針

決算認定（決算委員会では承認では無く認定）を行う上で、皆さまの大切な税金を「いくら使ったか」ではなく、「市民のためにどのように生かされているのか？」を確認していきます。その他、収支の均衡がとれた計画的な財政運営

だったか。長期的な視野に立つて財政の弾力性確保に十分配慮していたか。住民福祉など行政本来の目的である質の高い行政サービスの提供に努めたか。などの視点で財政運営を総合的に判断していきます。

審査する事は、市政運営を行う上で最重要課題として捉え、これからの下呂市運営や予算執行に生かし、いつまでも持続可能な下呂市となるよう、慎重に審査します。

議会改革 特別委員会

定数 5人

委員長	今井 政嘉
副委員長	中島 新吾
委員	中島 ゆき子 田中 副武 中島 博隆

活動方針

当委員会は議会報告会と意見交換会を行います。更に今年度は市内各種団体との意見交換を行います。住民福祉の向上と下呂市発展のため、皆さまから頂いたご意見やご要望、政策形成に向けて頂いた課題について、議員間で話し合いを重ね、政策提言が行えるような仕組みづくりを行います。

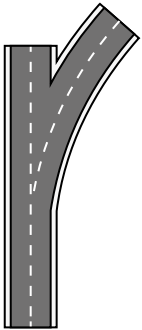
濃飛横断道・ リニア特別委員会

定数 7人

委員長	中島 達也
副委員長	田中 副武
委員	今井 政良 各務 吉則 中島 博隆 一木 良一 吾郷 孝枝

活動方針

当委員会は中津川市、郡上市、東白川村の各議会と連携をさらに強め、沿線自治体で組織される「濃飛横断自動車道事業促進期成同盟会」と一丸となって、県をはじめ関係機関に要望活動を行います。当面は下呂市から中津川市の木曾川に架かる美恵橋までの調査区間の指定と、郡上八幡から郡上市和良までの事業促進が図れるよう活動してまいります。



議会報編集 特別委員会

定数 5人

委員長	中島 ゆき子
副委員長	尾里 集務
委員	今井 政良 各務 吉則 一木 良一

活動方針

市民の皆さまに議会活動をご理解いただけるよう、議会報を通してお知らせします。今年度は、議会で審議された内容や意見を掲載するなど、「開かれた議会」となるよう次の活動を行います。

- ①議会報「下呂市議会だより」を年4回開催する定例会に合わせ、8月・11月・2月・5月に発行し、下呂市内の全世帯に配布します。
- ②「下呂市議会だより」が、市民の皆さんに議会の活動を詳しく伝え、分かり易く、読み易いものとなるよう編集に努めます。
- ③議会情報の提供にあたっては、公平・中立な立場を堅持し、定例会の内容に加えて、各種委員会の活動についてもお知らせします。

6月定例会の報告

6月2日から6月22日までの21日間、平成29年第3回下呂市議会定例会を開催しました。条例制定や補正予算など、上程された議案は全て可決しました。可決議案には下呂庁舎耐震補強等工事（建築）請負契約の締結もあり、いよいよ下呂庁舎の耐震工事が始まることとなりました。審議結果などは次の通りです。

上程議案と審議結果

◎全会一致で可決した議案 【市長提出議案】

議 案 名	審 議 結 果
専決処分の承認について（平成 29 年度下呂市一般会計補正予算（第 2 号））	可 決 (全会一致)
損害賠償等請求事件に伴う弁護士委託料について、一般会計補正予算を専決処分したので承認を求めるもの。	
下呂市農業委員会委員の任命について	
下呂市農業委員会委員として小林寿さんを任命したいので、議会の同意を求めるもの。	
財産の取得について	
救助工作車Ⅱ型 1 台を購入するもの。	
下呂市新クリーンセンター整備工事請負契約の変更契約の締結について	
耐震設計（対策）の目標を大地震時にも対応可能な避難所レベルに変更し、建物の安全性を高めるもの。	
下呂市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について	
小学校の夏季休業中、利用希望者の増加に対応できるようクラブ数を増やすもの。	
下呂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	
農地利用最適化交付金事業を活用した農業委員会委員などの報酬額を定めるもの。	
下呂市市営駐車場条例の一部を改正する条例について	
市営駐車場として阿多野駐車場を追加するもの。	
下呂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	
法律の改正により扶養親族加算額及び加算対象区分について改正するもの。	
平成 29 年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第 1 号）	
平成 29 年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第 1 号）	
平成 29 年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第 1 号）	
平成 29 年度下呂市簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	
平成 29 年度下呂市下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	
平成 29 年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第 1 号）	
平成 29 年度下呂市水道事業会計補正予算（第 1 号）	
平成 29 年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第 1 号）	
平成 29 年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第 1 号）	
4 月定期異動に伴う職員給与費・共済費・退職手当組合負担金などの補正。	
下呂庁舎耐震補強等工事（建築）請負契約の締結について	
下呂庁舎耐震補強等工事（建築）を曙開発株式会社と締結。	
平成 29 年度下呂市一般会計補正予算（第 4 号）	
旧下呂温泉病院跡地に防塵処理をするための補正。	

◎賛否が分かれた議案 【市長提出議案】

○…賛成 ×…反対

議 案 名	議 員 名													審 議 結 果
	尾里 集務	中島ゆき子	田中副武	今井政良	今井政嘉	各務吉則	宮川茂治	中島博隆	伊藤厳悟	一木良一	吾郷孝枝	中島新吾	中島達也	
下呂市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例について	○	○	○	○	○	○	×	○	議 <					

◎報告案件

議 案 名
平成 28 年度下呂市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
平成 28 年度下呂市水道事業会計予算繰越計算書の報告について

議会改革
特別委員会

6月14日、委員会を開催し、今年度の活動として①市民と議会の懇談会②決算の分析と検証③政策形成（議員間討議、予算編成への提言）④議会基本条例について、進め方を協議しました。

予算特別委員会

付託された10議案全て可決すべきものに

6月20日、委員会を開催し、付託された10議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

各会計の補正の主な内容は、4月定期異動に伴う職員給与費・共済費・退職手当組合負担金などの補正です。

一般会計

補正額 1億1173万円
補正後 232億9919万円

10特別会計

補正額（6特別会計）

補正後 2007万円
補正後 128億4960万円

3企業会計

補正額 2473万円
補正後 22億9346万円



萩原踏切歩道設置の調査検討業務を補正予算で計上

総務教育民生常任委員会

付託された3議案全て可決すべきものに

6月16日、委員会を開催し、付託された3議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

「下呂市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例について」（マイナンバーカードを用いて、オンラインサービスがで

きるようにするための定め）
Q マイナンバーカードの取得率は。サービスを利用するのに必要なものは。

A 5月末現在のマイナンバーカード取得率は、申請が3036件、全体の8・8%、交付件数が2354件全体の6・8%、県平均は3月末で6・6%の状況です。サービスを利用するには、パソコン、カードリーダー、マイナンバーカードが必要となります。

Q いつから導入活用されるか。
A 試験運用は7月中旬です。本格的導入は今年の10月頃です。

「下呂市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について」

（放課後児童クラブに、上原めだかクラブと中原めだかクラブを追

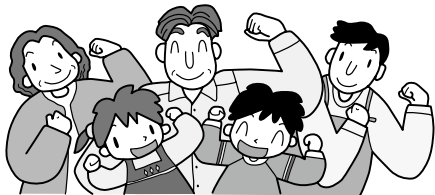
加するもの）

Q 施設は公設民営で運営か。定員は几名か。職員の配置は。

A 公設民営ではありません。市直営です。定員は上原めだかクラブと中原めだかクラブとも20名です。指導補助は地域の方々を雇用できるように協議しています

「下呂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について」（法律の改正により扶養親族加算額及び加算対象区分を変更するもの）

Q 補償額は改正により下がるのか。
A 配偶者は減額となりますが、子は増額です。それ以外は現行と同じです。



産業経済常任委員会

付託された2議案全て可決すべきものに

6月19日、委員会を開催し、付託された2議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

「下呂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について」（農地利用最適化交付金事業を活用した農業委員などの報酬額を定めるもの）

Q 通常の月額報酬に加え、新たに加算年額が追加されました。これは、これまでの農業委員・農地利用最適化推進委員の活動内容が、変更となったためか。

A これまでも農業委員や、農地利用最適化推進委員は、それぞれの活動の中で担い手支援や、遊休農地解消などの取り組みを実施いただいていた。今年度からは、農地利用最適化交付金事業を活用し、新たに「人・農地部会」「遊休農地部会」の2つの部会を設け、担い手支援と農地の集積、遊休農地解消や遊休農地発生防止などの取り組みを実施します。これらの活動や成果に応じた手当を、基

礎的な報酬月額に上乗せして加算年額で支払うものです。

Q 新たに追加された加算年額には、活動実績払いと成果実績払いがあるが、違いは何か。

A 活動実績払いは、会議など活動に応じて支払いをします。成果実績払いは、農地集積や遊休農地解消の目標値を定め、目標が達成できた成果実績に応じ支払いをします。

「下呂市市営駐車場条例の一部を改正する条例について」（市営駐車場として阿多野駐車場を追加）



市営駐車場とするため整備中の阿多野駐車場（6月撮影）

一般質問 10人が市政を問う



2 番

中島ゆき子議員

下呂市における日本版DMOについて
①現在までの具体的な取り組み状況は。

◆観光商工部長

DMOの組織の構築、旅行のニーズの調査やそれを受け入れるための現地の調査、効率かつ効果的な情報の発信、旅行者の募集方法などを検証し、下呂市の特徴を有効に生かし、他の観光地との差別化を図るための観光地づくり事業を実施しました。

②平成29年度に予算計上された「DMO構築推進事業」の内容は。

◆観光商工部長

オフラインアプリを活用する事業、高校大学連携旅行商品造成事業などを中部運輸局が直轄事業として実施しています。また昨年度に引き続き新スイーツ活用事業、エコツーリズム全体構想作成事業の実施や、新たに宿泊施設と着地型観光事業者との連携事業を実施します。

③DMOの構築計画は平成28年度から3カ年計画であるが、目指すべき姿は。

◆観光商工部長

将来的には下呂市DMOの取り組みと、エコツーリズム全体構想を結びつけた、地域主体の組織が機能していくことです。観光という事業の中で、地域振興や経済効果、環境保全が機能して、初めて持続可能な観光地域づくりができてくると考えます。

下呂市内の地域公共交通網について

①平成26年11月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律」が施行されました。これによる下呂市の取り組み状況は。

◆生活部長

本年度、公共交通会議の進捗状況を確認し、問題点を指摘いただきながら、地域公共交通網形成計画の作成を行って行きます。

②平成29年度予算に「地域公共交通網形成計画調査策定事業」が組まれているが、その進捗状況は。

◆生活部長

5月23日から6月5日にかけて、調査業務を行う業者をプロポーザル方式で公募しました。4社より参加表明があり、6月30日にプレゼンテーションを実施します。計画は平成29年度に策定し、平成30年4月より準備を行い、10月のダイヤ改正に合わせ運用を開始します。



5 番

今井政嘉議員

第二次総合計画の第1四半期を終え、その実数と今後の取り組みについて

①働く場の確保、市内企業の情報発信、市内外の就職支援の実数と今後の見通しは。

◆観光商工部長

平成27年度末に開設したポータルサイト「下呂で働こう」は、当初69社の掲載でしたが、現在は101社の企業情報を掲載しています。また、下呂市出身の大学生などに市内の求人情報を発信する就職情報バンクの登録者は、現在115名登録いただいています。高校生や大学生、U・Jターンを希望する方へ企業情報を発信し、地元就職の魅力をPRすることで、地元就職を促進していきたいと考えています。

②昨年、岐阜県への移住者が過去最高と報道されたが、下呂市の移住・定住促進の現状と今後の対策について。

◆市長公室長

同じ調査での下呂市の実績は24名となっています。平成27年度か

らは、市民活動推進課に移住サポートセンター窓口を設け、住まい、仕事、各種支援制度などについて移住希望者の相談に応じる体制をとっています。今後は、改めて転入・転出事由などの実態把握をおこないながら、新たな施策も検討していきます。

③下呂が魅力的だと言っていることを伝えなければ、移住定住は出来ないのでは。

◆副市長

非営利団体「みらいろ」が独自の「ぼかぼか通信」を出しています。これは、下呂市の暮らしの魅力を発信するため、「仕事編」「暮らし編」をやっており、今後「暮らし編」に移ります。セッション数も劇的に増えています。下呂市の暮らしびりを提供することで、下呂市に移り住みたいと言う気持ちを持ってもらえるのではないかと思います。

④移住者は20代30代が多いとのことだが、下呂市は20代30代をどの様に取り込むのか。

◆市長公室長

「魅力を発信する」ことについては、SNSを使うことになるかと思っています。発信形態について、現在職員でSNSの活用についての研究会を立ち上げています。今後発信の方法について、しっかり検討します。



1 番
尾里集務議員

旧馬瀬中学校の活用計画について

平成28年度をもって閉校となった、旧馬瀬中学校のグラウンドや校舎等の利用計画について、下呂市の考え方は。

◆教育部長

旧校舎については、条件を付さない形で法人や団体、個人が有効に使っていただけるよう、提案型の「公募」をかけて、有効な活用を図っていきます。

鮎のブランド化について

市内にある馬瀬川、益田川、飛騨川などの河川において、下呂市の鮎をブランド化することはできないか。また、水産業振興を目的に鮎の放流に対する支援は出来な

◆農林部長

鮎を単なる食材としての鮎としてだけでなく、豊かな森林や里山、そこから生まれる清流、その清流で育まれた鮎というものをキーワード・入り口として、ストーリー性を持たせ、パッケージとして売っていくような、付加価値をつ

けた取り組みが大切だと考えています。既に取り組んでいる鮎の火振り漁との組み合わせにより、地元の人とのふれあい、伝統文化に触れつつ食空間を楽しむようなスタイルが出来つつあり、個体のブランド化に勝るものになっていくと考えます。

放流に対する支援は、近年せっかく放流したアユを食べてしまうカワウ対策に力を入れており、昨年は一定の効果が見られたと聞いています。限られた財源ですので、こうした事業の成果・動向も踏まえて考えていきます。

益田清風高等学校の支援策について

生徒たちは下呂市の観光、地域密着型の学習など行っています。この取り組みに対して、下呂市独自の支援策はあるのか。市外から通学する生徒を確保する観点から、その生徒たちに対しての支援策はないのか。

◆観光商工部長

高校生が地域に残り、地域で新しい働き方を生み出すための創造性、開発力などを地域で伸ばすための取り組みへの支援と、その活動のPRに努めます。従来の就職支援活動と合わせて実施することで、魅力ある高校づくりの一助になればと考えています。



3 番
田中副武議員
(公明党)

御嶽濁河高地トレーニングセンターについて

5月25日開所式を迎え、県スポーツ科学センターの分館としてスタートした。

①今後、下呂市としてどのように関わっていくのか。

◆市長公室長

旧濁河温泉高原スポーツレクリエーションセンターの運営で得られたノウハウなど、できる限り意見を申し上げると共に、推進協議会の一員として、2020東京オリンピック・パラリンピックに向け、当エリアの一層の利用促進を図るため、連携・協働を行なっていきます。

②山村活性化支援交付金事業の実施計画の中に、エゴマが高地トレーニングサポート食品として検証すると記されており、どのように進めるのか。

◆小坂振興事務所長

高地トレーニングの第一人者である日本体育大学の杉田教授に委託して検証します。エゴマの有効成分を配合したサブリの製品化に

結び付けたいと考えています。

就学援助・貧困対策について

文部科学省は「要保護児童生徒援助費補助金要綱」を本年3月31日に改正し、「就学予定者」を加え、「新入学児童生徒学用品費」の単価を約倍増しています。

①下呂市として取り組んでいくのか伺います。また準要保護児童生徒に対する対応は。

◆教育部長

対象者に「就学予定者の保護者」を加え29年度より実施します。

「新入学児童生徒学用品費」の単価改正については、本年度の新入学児童生徒から対応しています。

②子ども食堂についての考えは。

◆市長

PTAの交流会でお話を聞き、現実的な問題として受け止めました。社会教育主事と相談しながら、包括的な子育て支援策として検討していきます。

災害時の備えに

災害対応型紙コップ式自販機は、「お湯」の供給ができるため、設置できるよう、メーカーと災害時の応援協定を検討してはどうか。

◆市長公室長

各施設の利用状況などを把握するとともに、飲料水販売事業者との連携による災害時における飲料水の確保対策について、研究を引き続き行いたいと考えます。



12 番
中島新吾議員
(日本共産党)

市の周辺部を大切に市政を

持続可能な市とするためには周辺部を元気にする地域づくりが大事。行政機関や機能の撤退は、その地域を切り捨てることにつながる。

①「地域交通」は地域福祉、教育、地域コミュニティなど住民が地域で生きていくうえでの土台となる、総合的課題であるとしつかりと位置づけを。

◆生活部長

少子高齢化が進み人口減少が進む中、地域社会の活力を維持・向上させるため、地域公共交通が果たす役割は極めて重要であると考えます。地域公共交通の定義は、地域の総合行政を担う地方公共団体が先頭に立って、事業関係者・地域住民と一体で交通ネットワークサービスを形成することです。

②振興事務所は住民サービスと住民自治の拠点です。地域活性化のため、その役割と機能を守り充実することが大事です。

◆総務部長

今後の振興事務所については、支所的な役割から「総合的な窓口

業務」と「地域づくりの拠点」の二つの機能を担うこととしています。本課への業務の移管により、振興事務所の職員数の一部削減は生じますが、市民窓口としての機能は今までと変わらず維持していきます。まちづくり特命や地域づくり支援員を配置し、市民が主体となつてまちづくりの活動、地域が担うべきまちづくり活動を積極的に支援する体制は今後も進めていきます。

自衛隊明記の改憲反対を

安倍首相が自衛隊明記の改憲を提起した。これは「戦力」の保持を禁止した憲法9条2項をなくすること。平和首長会議に参加する市長は、この改憲に反対を。また、市として平和と核兵器の廃絶をめざした具体的取り組みを市民とともに。

◆市長

市では、核兵器撤廃と恒久平和の実現に向けた取り組みを推進するため、平成24年平和首長会議に加盟しました。下呂市としても加盟自治体などと協力し、核兵器のない平和な世界の実現に向けて引き続き取り組みます。8月1日から15日までの15日間、下呂庁舎で原爆ボスター展を開催し、合わせて「核兵器禁止条約」の交渉開始を求める署名コーナーを開設する予定です。



4 番
今井政良議員

介護予防・日常生活支援総合事業開始による市の方向性について

◆健康福祉部長

既存のホームヘルプサービスに加え、「訪問型サービスA」として資格の不要な家事援助などのサービス提供を、シルバー人材センターに依頼し生活支援サービスの体制整備を図るとともに、認知症初期集中支援チームの設置により認知症施策の推進を開始したいと考えています。地域住民やボランティアなどの助け合いの仕組みを、地域の中で活性化させていくことが総合事業の真の「ねらい」となります。

竹原・上原地区の主要地方道、一般県道、市道の今年度と今後の計画について

①一般県道兼政停車場線、島平地内の二車線化について。

◆建設部長

相互交通が可能な状況であり、早期の事業化は困難な状況と伺っています。しかしながら歩道設置など、恒久対策の実現に向けて、引き続き県に要望していきます。

②一般県道門和佐瀬戸線「おんじ

バイパス」二ノ樽バイパス」の改良工事について。

◆建設部長

二ノ樽工区500㍎の区間において、橋梁を含むバイパス工事が進められています。このうち下流側の橋梁工事がほぼ完了。上流側橋梁の下部工も完了し、本年度は上部工工事に着手できる見込みと伺っています。「おんじバイパス」は、二ノ樽バイパスの完了後、直ちに着手していただくよう県に要望しています。

③一般県道田口洞線「蛇ノ尾バイパス」上流850㍎の区間と、市道と川12号線の2車線化改良工事について。

◆建設部長

大鹿野に至る未改良区間については、市道と川12号線の道路改良と併せて計画することとしており、既存橋梁「丸ノ山橋」の照査など、和川12号線の改良に向けた予備設計を実施します。

竹原基幹農道について

①第3期工事の今年度及び今後の予定は。

◆農林部長

国の予算配分によりですが、平成30年度から工事に着手し、平成32年度に完成の予定です。

②ソフト事業の考え方について。

◆農林部長

地域農業の実情を加味し、地元へも相談しながら進めます。



11 番
郷孝枝 議員
(日本共産党)

教室にエアコン設置を早急に

子供たちがより良い環境で学べるよう、教室にエアコンを設置する自治体が岐阜県内でも6割を超えました。教育環境の整備は市町村の責務です。優先度の高い中学校から教室にエアコン設置を。

◆教育部長

現段階では、教室にエアコンを設置することは考えていません。今年度、夏場の普通教室内の最高気温を継続的に観測して実態調査をしたいと考えています。

ヘルプマークの導入と、下呂駅にエレベーター設置を

見た目では障がいがあると分かりづらい人が、周囲から手助けを得られやすいようにするヘルプマークが、今年7月にJ-1Sに登録され全国的な広がりが期待されています。ヘルプマークの本格的な導入を実施してはどうか。また、車椅子の人や足の不自由な人にとって、駅ホームにエレベーターすらないのでは、おもてなしの観光地とは言えません。下呂駅にエレベーター設置を。

◆市長

ヘルプマークについては、市民の皆さまに広く周知し、理解いただいたうえで使用することが効果的と考えています。県の実施動向を見ながら緊密な連携を図り、普及推進に繋げていきます。

駅のエレベーターについては、上京した折にJR東海本部を訪問し、駅のバリアフリー、エレベーターの設置について検討いただきたいと強く要望しました。

住民健診で緑内障の早期発見を

視覚障害の原因疾患の第1位が緑内障です。40歳以上の日本人の20人に1人が緑内障と推定されています。住民健診で緑内障の検診を実施するように。

◆健康福祉部長

緑内障は、予防できる生活習慣病としての扱いではないため、現在の健診では、受診者全員を対象とすることができないのが現状です。国保特定健診の50歳、55歳、60歳、65歳の、節目年齢で実施している眼底検査でみつかることがあるので受診ください。



赤色に白文字のヘルプマーク



13 番
中島達也 議員

濃飛横断自動車道、実現に向けた市長の姿勢を問う

市長は公式の場で「濃飛横断自動車」の必要性を発言されているが具体的な取り組みは。商工会、観光協会などの団体からも要望があり、今こそ議会、官民一体となった力の結集と、市長のトップセールスが欠かせないと思うが。実現に向けた取り組みは。

◆市長

下呂市を東西に貫く「濃飛横断自動車道」は、南北の基軸である国道41号と併せて、今後の下呂市の発展を図るうえで特に重要な社会基盤です。高速道路の空白地帯である下呂市にとって、市民生活や産業経済活動を行う上で、高速道路網へのアクセス整備は必要不可欠です。このため沿線の三市一村で組織する「濃飛横断自動車道事業促進期成同盟会」が中心になって、積極的な要望活動に取り組めます。議会の皆さまや、関係する経済団体の皆さまとの連携をより一層強化し、官民一体となって、一刻も早い事業の完成に向けて

て取り組んでいきます。

高齢化社会に対応した公共交通のあり方について

多発する高齢ドライバーの自動車事故の背景の1つに、「地域公共交通の充足」すなわち「高齢者の足」が確保されているかがあると思う。今年度大幅な見直しをされると聞いているが、どのような手法で地域住民の要望に添えていくのか。

◆生活部長

下呂市地域公共交通会議を中心として、地元交通事業者をはじめ各種団体と連携し、新たな下呂市地域公共交通網形成計画の策定をしていきます。

策定にあたっては、医療、福祉、買い物などで利用されている方々のご意見もいただきながら、下呂市内の各地域の状況を調査・把握し、ニーズに見合った路線・ダイヤの見直しをすすめて行きます。下呂市内全域のバランスを考慮した公共交通網の策定を目指すものです。





7 番
宮川 茂 治 議員
(日本共産党)

旧県立下呂温泉病院跡地の今後について

旧県立下呂温泉病院の跡地を今後どのようにされるのか。今後の跡地の活用計画と時期について説明を求める。

◆市長公室長

現在の計画では、ランドマーク整備と二次交通発着所、駐車場整備を予定しています。しかし、この計画はあくまでも案であり、「下呂市地域再生計画事業構想・基本設計業務委託」の中で、関係団体などと協議しながら構想を作っていきます。時期については、何とか本年9月末までに構想を策定し、平成30年度に実施設計、平成31年度・32年度の2力年で工事を実施したいと考えています。

下呂市最終処分場建設について

下呂市の最終処分場の建設については、住民の方から健康面において心配されるという意見を聞く。健康被害に大きな影響が懸念されるダイオキシンの問題について、市はどのように捉えているのか。

◆市長

平成33年度末の完成を目途に、「安心で安全」な施設の建設を目指し、地域の方のご意見をお聞きしながら進めていきます。ご質問のダイオキシンについては、法に基づいた検査をしっかり行い、基準以内の数値をクリアし、「安心で安全」な施設運営を行って行きます。これらの施設の建設にあたっては、地域の皆さんが苦渋の選択で引き受けて頂いたことを、市民の皆様方にもご理解して頂きたいと思っています。

◆環境部理事兼環境施設対策監

現在四美地内で埋立てしている焼却灰の、平成28年度におけるダイオキシン類の検査数値は、国が示す基準値を大きく下回っています。また過去10年間基準値を超えたことはありません。最終処分場からの放流水についても、基準値をはるかに下回っており、こちらも過去10年間基準値を超えたことはなく、施設管理面でまったく問題なく安全であることをご理解ください。ダイオキシン類の対策については、クリーンセンターをはじめ最終処分場も法の定めにある検査を実施し、その検査結果を公表するとともに、地域の皆様方に安心していただけるようしっかりとした管理運営を行ってまいります。



10 番
一木 良一 議員

猟友会が求める有害鳥獣丸ごと処理施設整備進捗状況

新処理方式、環境基準データなどについて。

◆農林部長

昨年、ERCMという新しい処理方法を猟友会の皆様にもご視察いただいたところです。この方式は、熱分解による有機物処理という新しい技術で、環境にも優しく、ランニングコストも比較的安価であるという施設です。1カ月以内には、排出される物質についての検査結果を提出いただけたらと思いますので、ご報告させていただきます。

南ひだ森林組合、小坂町森林組合合併までの課題と条件

小坂町森林組合の経営改善は、予定どおり進んでいるのか。

◆農林部長

平成28年は、予定を上回る経営改善が図られたところです。単年の損益計算においては、赤字を計上しておりますが、貸借対照表においては、自己資本比率が78.8%となっております。同程度の会社にな

おいて自己資本比率が50%を超えていれば健全であるとされていますので、単年の赤字を解消できれば、健全な状況であると思われることもできます。早期に経営状態を健全化していただいた上で、組合員の信頼を回復することが最も大事なポイントです。

日本酒での「乾杯条例」の制定を

日本の文化の再認識と地域振興のため。

◆観光商工部長

乾杯条例については、個人の嗜好に関わることもあり、自治体が条例を制定することについては、賛否両論あると聞きしています。既に制定されている自治体の状況や効果を参考に、関係する事業者の方々のご意見も伺いながら、検討していきたいと思っています。

小坂町旧湯屋小学校校舎について

旧湯屋小学校を今後、市としてどのようにされるのか。解体か保存か。

◆小坂振興事務所長

市は、地域としてどうしていくのかについて、意見聴取していきます。

庁舎・振興事務所整備、 旧下呂病院跡地等 活用特別委員会

6月15日、庁舎・振興事務所整備と地域再生計画の、それぞれの進捗状況について説明を受けました。

庁舎、振興事務所整備工事は、予算の執行状況や下呂庁舎、小坂振興事務所、馬瀬中央公民館耐震補強等工事など契約手続中の工事、旧萩原庁舎解体等工事など今後の発注計画について説明を受けました。

地域再生計画は、事業構想・基本設計業務委託を4月25日から9月30日の期間で実施することや、幸田2号線道路整備事業、阿多野駐車場整備事業について契約内容の説明を受けました。

委員からは「地域再生計画の全体構想を市民にいつ説明するのか」との問いに、「プロポーザルの提案を全部採用するわけではなく、変更もあります。観光商工関係者からの意見を伺いながら、市内全域の観光振興につながるような計画を作っていきます。市としての方針がある程度固まったところで、市民の皆さんに説明していきたい」と説明がありました。

表紙の写真

ケチカン訪問団16名が、6月1日から12日まで下呂市を訪問されました。今年は旧金山町で始まったケチカン市との交流が、30年を迎える記念の年です。

6月3日、金山振興事務所において、ケチカン市長をお迎えし「30周年記念式典」が開催されました。両市の代表者による30年を振り返ってのスピーチの後、記念フラッグの交換を行いました。また、下呂市とケチカン訪問団による合同演奏会では、30周年記念曲などを演奏しました。

式典の後には、白龍太鼓や煎茶道の体験、浴衣に着替えて盆踊りなど楽しく交流しました。両市の交流が更に深まることが期待されます。



交換された記念フラッグ

編集後記

梅雨に入ったにもかかわらず、6月定例会開催中は晴天が続き、田や畑の水の心配をしました。

また、熊の目撃情報も頻繁にあり、猟友会の皆さんや警察の皆さんで見回りをさせていただく事が多くありました。

そんな中、下呂市土砂災害防災訓練が予定されていた6月25日午前7時2分、長野県南部を震源としたマグニチュード5.6の地震が発生しました。幸い下呂市内では被害もなく、予定通り土砂災害防災訓練が実施されましたが、日頃から、地震災害に対して身を守る取り組みが大切だと感じました。

この6月から下呂庁舎の耐震補強工事が始まりました。いつ来るかわからない大地震に備え、早く災害対策本部としての役割を果たせる建物となることを望みます。来庁される皆さまや庁舎近隣の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

議会報編集委員 Y. N

9月定例会日程

9月定例会の日程をお知らせします。なお一般質問などの内容は新聞折込でお知らせします。

月 日	曜日	会 議 内 容	時 間
9月1日	金	本会議（初日）	10時～
13日	水	本会議（一般質問）	
14日	木	本会議（一般質問）	
15日	金	総務教育民生常任委員会	9時30分～
19日	火	産業経済常任委員会	
20日	水	予算特別委員会	
21日	木	決算特別委員会	
22日	金	決算特別委員会	
25日	月	決算特別委員会	10時～
27日	水	本会議	

※日程は変更になる場合もあります。

場所：本会議（下呂庁舎3階 議場）
委員会（下呂庁舎3階 第1会議室）